













011109	その他 の非鉄 金属製 造業							1								1		1			1	4	
0111	非鉄金 属製造 業							1						1		2		1			1	6	
011201	洋食 器・刃 物製造 業																						
011202	ねじ等 製造業																						
011203	金属プ レス製 品製造 業											1										1	
011204	めっき 業																						
011209	その他 の金属 製品製 造業						2	1	1		1	1			2	1	1	3	1		1	2	17
0112	金属製 品製造 業						2	1	1		1	1		1	2	1	1	3	1		1	2	18
011301	機械 (精密 機械を 除く)		2						1	1							2					6	









030103	地下鉄 建設工 事業									1													1	
030104	鉄道軌 道建設 工事業		2				1	2			1		1	1			1	1			1	1	12	
030105	橋梁建 設工事 業				1		2	1	3	3	4	1	1	2	3	2	2					2	27	
030106	道路建 設工事 業		14		10		9	9	9	11	15	9	7	11	5	6	5	6	2	3	5	3	4	143
030107	河川土 木工事 業		3		1		6		1					2	1	2	3	1	3		2	2	27	
030108	砂防工 事業				1				1	3		1						1			1		8	
030109	土地整 理土木 工事業		3		2		2	4	3	2	1	2	5	2	2	4	3	4	2		2	3	1	47
030110	上下水 道工事 業		6		5		2	2	6	5	5	8	2	6	4	4	5	1	1	1		2	1	66
030111	港湾海 岸工事 業								1		1		1	1				3					7	
030199	その他 の土木 工事業		19		20		16	20	8	9	13	17	6	11	19	12	14	12	15	11	10	14	10	256

0301	土木工 事業			50		42		40	38	34	34	40	42	22	36	36	31	33	30	26	16	21	24	22	617
030201	鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業			17		16		19	18	12	20	16	8	20	12	19	33	22	18	26	11	19	8	12	326
030202	木造家 屋建築 工事業			10		5		13	10	9	8	7	6	3	9	15	16	16	20	21	23	22	18	20	251
030203	建築設 備工事 業					3		3	2	1		4	1	5	1	1	2	2	2		1	1	3		32
030209	その他 の建築 工事業			27		29		28	27	37	40	23	20	36	21	58	57	52	49	41	55	42	49	61	752
0302	建築工 事業			54		53		63	57	59	68	50	35	64	43	93	108	92	89	88	90	84	78	93	1,361
030301	電気通 信工事 業			2		1		2	1	2	1		1	5	1			2	1	2					21
030302	機械器 具設置 工事業			1		1		1	2	1		1			1	1	1	3		2	1		1		17
030309	その他 の建設 業－そ の他			3		10		11	11	8	6	12	6	4	10	14	13	18	24	25	22	22	20	32	271

0303 その他の建設業			6		12		14	14	11	7	13	7	9	12	15	14	23	25	29	23	22	21	32	309
03 建設業			110		107		117	109	104	109	103	84	95	91	144	153	148	144	143	129	127	123	147	2,287
040101 鉄道・軌道業																								
040102 水運業																								
040103 航空業																								
0401 鉄道・軌道・水運・航空業																								
040201 ハイヤー・タクシー業																								
040202 バス業																								
040209 その他の道路旅客運送業																								
0402 道路旅客運送業																								
040301 一般貨物自動車運送業					2		1				2	2		1	1	1	3	3	3	1	3		2	25









































上下水道 道工 事業	1								1											1	3		
030111 港湾海 岸工 事業	1																				1		
030199 その他 の土木 工事業			1		2					1			1	1	1		1				8		
0301 土 木工事 業	1	3	1	1	2	3		1	2	2	1	2		1	1	2	1		1		1	26	
030201 鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業	1					1				1				2		3	1					9	
030202 木造家 屋建築 工事業								1									1	1	2			5	
030203 建築設 備工事 業																							
030209 その他 の建築 工事業			1	1	1	1			1				2		2	3	3			1	1	2	19
0302 建 築工事 業	1		1	1	1	2		1	1	1			2		4	3	6	2	1	3	1	2	33
030301 電気通																	1					1	





















2012	9	16 ～ 17	解体現場において、解体用機械（重機）を用いて作業を行っていたところ、バランスを崩した重機が後ろ向きに倒れ、近くにいた被災者がアームの下敷きになった。	30209	7	1～ 9
2012	10	10 ～ 11	トラックの荷台に積んであった油圧ショベルが走行中道路上に落下した。そのため、トラックを運転していた被災者が油圧ショベルを荷台に積み込んだところ、荷台から道路わきに油圧ショベルとともに転落した。被災者は投げ出され、油圧ショベルとフェンスの間に挟まれ、死亡した。	40301	7	1～ 9
2012	12	16 ～ 17	解体工事現場にて、防護パネルの支持材となった足場簡易枠7枠を玉掛けワイヤーを用いて、コンクリート圧砕機の爪先に掛け、つり上げ移設しようとした際、アタッチメントが回転し、付近にいた被災者の胸部に激突した。	30209	6	30 ～ 49
2013	9	18 ～ 19	被災者は、一人で間伐作業及び造材作業に従事していたが、終業時刻になっても被災者が現れないため、被災者の作業場所へ向かったところ、被災者が操作していた解体用機械が転倒しており、当該機械のアームの横で、被災者は仰向けに倒れており、死亡が確認された。	60209	2	1～ 9
2013	11	8 ～ 9	鉄骨2階建屋の解体のため、鉄骨切断機で家屋2階の北面の壁を破碎したところ、鉄骨切断機のアタッチメント（鉄骨切断具）が壁や梁とともに、壁の奥にいた被災者に激突した。	30309	6	1～ 9
2013	7	11 ～ 12	被災者は、道路拡幅工事現場にて、ブレーカ（機体荷重5.15トン）を用いて法面の掘削作業中、当該ブレーカが作業道（勾配約30度）上で横転し、ブレーカの下敷きとなった。尚、被災者は、シートベルトを着用していなかった。	30106	2	10 ～ 29
2014	12	15 ～ 16	トレーラーを傾斜のある作業道に設置し、建設機械を荷台に積載し、上部旋回体をトレーラー後方側へ回転させた際、荷台側面の履帯を修正しようとトレーラー後方側へ動かしたところ、建設機械が荷台より滑り、墜落。被災者は転落する建設機械に巻き込まれ、建設機械の下敷きになり、死亡した。	30199	1	10 ～ 29
2014	10	15 ～ 16	解体用ブレーカーを用いて鉄筋コンクリート造の建物解体を行っていたところ、解体用ブレーカーが転倒し、解体用ブレーカーと地面との間に被災者がはさまれた。	30209	2	30 ～ 49
2014	5	9 ～ 10	解体用つかみ機で産業廃棄物を小さくし、破碎機に投入しようとした際、産業廃棄物の分別を行っていた被災者が産業廃棄物の中にあつた物を取り除こうとしたところ、解体用つかみ機の運転手はこれに気付かず、アタッチメントの先が被災者に激突した。	150102	6	1～ 9
2014	5	17 ～ 18	解体工事現場にて、外周の養生シートの骨組みを解体するため、解体用つかみ機のつかみ具の部分に被災者を乗せ、つかみ具上で作業していたところ、作業していた被災者が約4mの高さから墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	4	14 ～ 15	個人家屋建替工事にて、被災者がホースで散水し、同僚の重機オペレーターが解体用つかみ機を使用し、旧家屋を解体中、被災者が倒れているのが発見された。	30201	7	30 ～ 49
2014	3	13 ～ 14	車両系建設機械の車体と排土板の間に挟まれ、死亡した。	30209	7	10 ～ 29
2014	3	11 ～ 12	家屋解体工事現場にて、解体用つかみ機を運転し家屋を解体していたところ、解体用つかみ機と壁の間で散水作業を行っていた被災者は、旋回してきた解体用つかみ機のカウンタウエイト部と壁の間にはさまれた。	30309	7	50 ～ 99

2014	1	15 ～ 16	焼却場敷地内にて、産業廃棄物の選別のため、車両系建設機械（解体用つかみ機）を使用し、廃材（クローラー：推定重量400kg）を持ち上げ、被災者を含む労働者2名で廃材に絡まっていた網を解こうとしていたところ、突然に同機械のアームを稼働させるための油圧ホースの一部が破損。アームが下降し、廃材の直下で作業をしていた被災者を直撃した。	150102	6	1～ 9
2015	11	14 ～ 15	フレキシブルコンテナバックに充填された地盤改良材2袋（重量約2t）を仮置きのため、被災者がスリングロープで玉掛けし、解体用機械（コンクリートブレイカー）で揚重作業を行っていたところ、旋回中に被災者が作業半径内に立入っているのが視界に入ったため、旋回を止めたところ、スリングロープが破断し、荷が落下して、被災者が荷の下敷きとなり被災したものの。	30209	4	1～ 9
2015	5	15 ～ 16	RC造4階建物の解体作業中、コンクリート圧砕機を解体物（コンクリート片等）から成る山の端部に設置して、爪で鉄筋を挟み移動する作業をしていたところ、機械が後進し、地上レベルとの間に生じた約1メートル下の地面に転倒したものと推定されるもの。被災者は運転席から救出されたが、同日18時ごろ搬送先の病院にて死亡が確認された。死因は「環椎後頭関節離断」	30209	2	1～ 9
2015	9	15 ～ 16	産業廃棄物分別場所にて、他の事業場の労働者が硬質プラスチック製の材を圧縮機へ入る大きさにするため、解体用機械（つかみ機）を使用し、材を折る作業を行っていた。一方、被災者は工場内の別の場所にて、解体用機械を背に、廃タイヤの金具を外す作業を行っていたところ、解体用機械が折った材の破片が被災者の方へ飛び、被災者の脇腹に激突したものの。	150102	4	1～ 9
2015	3	9 ～ 10	産業廃棄物処理事業者から分別等の作業を請け負っている事業場の労働者である被災者が、同処理業者の前選別ヤードで、廃棄物の分別作業に同僚5名と共に就いていたところ、後退した車両系建設機械（解体用）（機体重量10.9トン、処理業者の労働者が運転）に下半身を轢かれ失血死したものの。	150102	7	10 ～ 29
2015	9	11 ～ 12	11時30分頃、被災労働者が1名で刈り取った草を草捨て場にパッカー車で運んだ。同日14時00分頃に事業主が残土を捨てるために移動したところ、被災労働者が転倒した解体用機械の下敷きになっているところを発見した。	60101	2	1～ 9
2015	4	16 ～ 17	山積みされた廃棄物の中で廃棄物の分別作業中、同廃棄物の上で廃棄物のかき集め作業をしていた車両系建設機械の アームに激突された。	150109	6	1～ 9
2015	1	10 ～ 11	水路付替工事において、大型ブレイカにより既設水路の解体及び土止め支保工の設置を行っていたところ、解体すべき水路河床がオペレーターから見えないため、水路内で解体位置にブレイカを誘導していた被災者が、土止め支保工部材とブレイカとの間にはさまれ被災したものの。	30107	7	50 ～ 99
2015	1	10 ～ 11	構内に搬入された産業廃棄物（木くず混合廃棄物）の分別作業中、停止していた解体用つかみ機が他の運行車両の妨げとなっていたため、同僚が解体用つかみ機を運転、後退させたところ、後方で分別作業をしていた被災者がクローラ部に轢かれ死亡した。	150102	7	10 ～ 29
2015	12	15 ～ 16	製造業の工場B1, 2号炉解体工事で解体された廃材を15トントラックに積込み、自社資材置場に移動した。自社資材置場において、解体用つかみ機を使用して、廃材（重量：900kg）の荷卸し作業中、当該つかみ機で廃材を斜めに立てて、一旦運転席から降り、廃材の下方についていたシャックル等を取り外そうと、廃材の下に入ったところ、つかみ具の先端の爪から廃材が外れ、下敷きになったものの。	30302	4	10 ～ 29
2015	4	10 ～ 11	地上19階、地下2階建てのRC造建築物の解体工事中、コンクリート片に作業員1名が押し潰されて死亡したものの。コンクリート片は当該建築物17階の床を解体した一部で、ブレイカーを用いて17階から1階に投下されたものであった。エレベーターシャフトを通り落下したコンクリート片は、シャフトの受け口からシャフト外に飛び出し、そのまま現場内を約20メートル転がって被災者に激突し倒れた。	30209	6	1～ 9

2015	6	9 ～ 10	被災者は、新たに採石が行われる山の斜面に重機等が走行するための道路を整備する現場において、ブレーカを運転し岩石を破碎する作業を行っていたところ、当該ブレーカーが安定を失い、機械とともに斜面を転落した。被災者は、斜面を転落中に運転席より投げ出されたものである。	30199	1	30 ～ 49
2016	12	10 ～ 11	4階建RC造の解体工事において、屋根が木材等で出来ており、被災者及び2次下請けの労働者3名は屋根上で解体作業を行っていた。被災者は屋根材の切断作業を行い、その他は屋根材を集める作業を行っていた。屋根材を1か所に集めた後、被災者は、車両系建設機械（解体用つかみ機）の運転手に屋根材を下ろしていい旨伝え、その後、つかみ機が廃材をつかみ下ろしている時に被災者が屋根から飛び出して高さ約1.2mから墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2016	11	14 ～ 15	被災者が、事業所内ヤードの整備にて、別事業場所属の労働者が運転する解体用機械のアタッチメントの上に乗って、ヤード入口門扉の溶接作業を行っていたところ、解体用機械のブームが上昇し、アタッチメントと門扉の梁の間に挟まれた。	80109	7	1～ 9
2016	11	14 ～ 15	解体用建機のアタッチメント取替作業中に、手元作業員が突如動いた建機アームに激突された。	30201	6	30 ～ 49
2016	10	8 ～ 9	被災者は、公民館解体工事現場で、地下埋設燃料タンクを撤去するため、解体用重機を運転して約5m下に移動していた。運転していた解体用重機が移動中の法面を滑り落ちる状態で、約5m下の地面に激突し、重機が横転した。被災者は、病院搬送後、死亡した。	30201	1	30 ～ 49
2016	9	1 ～ 2	地震の災害ごみ仮置き場になっている村民グラウンドで、解体用つかみ機で廃材をつかんだところ、廃材の1部が約9メートルはね飛び、車両誘導等を行っていた作業員の眉間に当たった。	150102	4	1～ 9
2016	7	8 ～ 9	コンクリート圧砕機（車両系建設機械の解体用機械）の小割用アタッチメントに廃材を入れた袋の帯を引っ掛ける作業をしていた合図者の頭部が挟まれ死亡した。	30201	7	10 ～ 29
2016	5	16 ～ 17	送電用鉄塔の基礎工事に被災者含む作業員7名が約30度の斜面で作業中、被災者は土止めに使用する単管4.6本（約377kg）をブレーカーの上部に玉掛けワイヤーを引っかけて、現場の資材置場から運搬していた。幅4mの作業道で旋回したところ、作業道脇の高さ1.5mの土止めの柵を乗り越え横転し転落。被災者は運転席から投げ出され、転落したブレーカーのアームと地面に挟まれた。	30301	1	1～ 9
2016	4	10 ～ 11	車両系建設機械（グラブがアタッチメント）を用いてフレコンバックをグラブの両方の爪にそれぞれ一つずつ（各約400kg）掛けてトラックの荷台に積み込む作業を行っていたところ、車両系建設機械の油圧ホースが裂けて油が噴出し、アームが急激に降下したはずみでフレコンバックを外す作業を行っていた労働者にフレコンバックが接触して荷台から地面に転落しその上にフレコンバックが落下して被災した。	150102	4	30 ～ 49
2016	2	13 ～ 14	被災者は、場内整理中、近くで作業していた解体用つかみ機のつかみ具で保持していた木の枝が、被災者の頭部に触れて死亡した。	30199	6	1～ 9
2016	2	16 ～ 17	太陽光発電所のフェンスの設置工事に伴い、被災者がフェンスの胴縁（重量計：約470kg）にスリングロープをかけ、車両系建設機械を用いて吊り上げて運んでいたところ、法肩から当該重機が転落し、被災者が当該重機の下敷きとなった。	30209	1	1～ 9
2016	1	9 ～ 10	RC造4階建て家屋の解体工事にて、コンクリート圧砕機を用いて4階壁の解体を行っていたところ、コンクリート片が飛来し、コンクリート圧砕機の後方で解体木片等の片付けを行っていた被災者に直撃した。	30209	4	1～ 9

2017	12	10 ～ 11	解体工Aが長さ1.8mのステンレス製の廃材（重さ150kg）をプラズマ切断し、当該廃材を労働者Bが解体用つかみ機でつかみ、右旋回したところ、別の場所で作業していた被災者の頭部と背部に廃材の一部（重さ85kg）が激突し被災した。労働者Bがつかんだ廃材は、実際は切断しきれておらずつながっている状態であり、旋回中に遠心力で切り離され飛んで行ったもの。	11009	4	10 ～ 29
2017	9	10 ～ 11	解体工事において、労働者が解体工事作業中に誘導者の配置及び立入り禁止措置を講じず車両系建設機械（解体用つかみ機）を代表者が運転していた際に発生。代表者が気がついた時には既に当該機械に被災者がつかまれ、死亡した。	30202	7	1～ 9
2017	9	8 ～ 9	民家解体工事において、解体用機械（つかみ機）を用いて廃材の搬出等の作業を行っていたところ、つかみ機の旋回範囲内に被災者がいることに気づかないまま機械を旋回させたため、被災者がつかみ機のアタッチメント先端とブロック塀とに挟まれ死亡した。被災者は手作業で、現場内の可燃物等のゴミを集めていた。	30309	6	1～ 9
2017	9	8 ～ 9	地上5階・地下1階の病院（RC造）の解体工事現場において、被災者が湧水を汲み上げるためのホースを調整していたところ、頭部に飛来物が当たり被災し、療養していたが死亡した。飛来物は、ブレーカーにより破砕された基礎底盤と推測される。	30201	4	1～ 9
2017	3	16 ～ 17	木造住宅の解体工事現場において、躯体の解体終了後、解体用つかみ機（ドラグショベルにフォーク状のアタッチメントを装着したもの）を用いて、ワイヤーモックにまとめたガラをつり上げようとしたところ、近くで作業していた被災者の頭部をはさみ、被災（死亡）した。	30309	7	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	工事に伴う内装解体作業において、解体用つかみ機（機体重量2.4トン）を運転する職長（一次下請）がアームを天井から床に下ろしたところ、解体した部材を回収しようとして、アームの直下に立ち入った被災労働者（三次下請）の頭部につかみ具が接触した。意識不明の重体であったが、1週間後に脳挫傷により死亡した。	30309	6	10 ～ 29
2018	9	10 ～ 11	産業廃棄物処理場内において、廃棄物の上に土砂をかぶせる作業を行っていた。土砂はフレコンバッグ（重量790kg）にて運搬され、車両系建設機械（解体用つかみ機）を使用してフレコンバッグをつり上げ、フレコンバック下部にあるロープを切断して、土砂を降ろす作業をしていた時、フレコンバッグの上部20cm付近からフレコンバッグが裂け落ち、フレコンバック下部で作業していた被災者が下敷きになり脳挫傷で死亡した。	150102	4	30 ～ 49
2018	8	8 ～ 9	被災者は、家屋解体工事現場で、フレコンバックを移動させるため、解体用つかみ機に取り付けたフックにつり下げる作業中に、建物の床の一部が抜けて解体用つかみ機が沈下し傾いたことから、被災者の左半身がつかみ具のツメに激突され、死亡したものの。	30202	6	1～ 9
2018	8	16 ～ 17	木材伐倒作業において、ドラグ・ショベルのベスマシンにつかみ用アタッチメントを装着した解体用つかみ機を用いて、道路上の枝葉を山に捨てる作業中に発生、解体用つかみ機の付近で道路上の枝葉を手作業で拾い集めていた被災者が、後進する解体用つかみ機のクローラーに轢かれたもの。	60201	17	1～ 9
2018	7	10 ～ 11	25t移動式クレーンに取り付けた杭抜用アタッチメント（2.9t）が被災労働者に激突し、死亡したものの。25t移動式クレーンに取り付けた杭抜用アタッチメントを折り畳む作業をしていたところ、クレーンに付属していた主巻きフック取付け用金具が破断し、杭抜用アタッチメントが振り子状に振れ、被災労働者の頭部に激突し、被災者が死亡した。	30199	6	10 ～ 29
2018	7	10 ～ 11	自社の太陽光発電パネル設置工事現場において、現場周辺の藪の竹や草を伐採したものを車両系建設機械（解体用つかみ機）を使用して、現場の一定箇所に集積する作業を行っていた。続いて被災者は現場上部の集積を行うため車両系建設機械を走行させ、通路のうち上り斜面となっている部分を通行したところ車両系建設機械ごと転倒し、被災したものの。	30309	2	1～ 9
2018	5	14 ～	茶畑から茶の株を除去する作業場所において、解体用つかみ機を運転して茶の株の引き抜き作業を行っていた労働者	60201	2	1～

		15	が、転倒した解体用つかみ機の下敷きとなった状態で発見されたもの。			9
2018	3	12 ～ 13	リサイクルセンターの作業場内で、社会福祉法人の障害者支援員が廃棄物の積みおろし作業中、後退してきた解体用機械に轢かれ、腰や右足等を強打。病院に緊急搬送されたが、約3時間後に出血性ショックにより死亡が確認されたもの。	130201	7	10 ～ 29
2019	11	14 ～ 16	木造住宅の解体作業中、解体用つかみ機で、梁とつながった柱をつかみ旋回していたところ、梁が柱から外れ地面に落下した後、近くのドラグショベルのキャタピラに座っていた被災者の方向へ倒れ激突したもの。	30202	4	1～ 9
2019	10	14 ～ 16	個人宅の木造倉庫解体工事において、簡易擁壁の支柱（T形鋼）を、解体用つかみ機を用いて引き抜く作業を行っていた。支柱が引き抜けた時につかみ機から外れ、前方にいた被災者の方へ飛来、首に当たった。	30202	4	1～ 9
2019	7	14 ～ 16	廃棄物の仮置場において、1 t 用土のう袋を解体用つかみ機で破碎して中の土を取り出す作業を行っていたところ、破碎した土のう袋を片付ける作業を行っていた被災者が、なんらかの理由で解体用つかみ機の後部に移動し、旋回した解体用つかみ機のカウンターウエイトと積み上げていた放射線遮蔽用の土を入れた1 t 用土のうとの間に胸部がはさまれた。	30309	7	100 ～ 299
2019	2	16 ～ 18	地上8階、地下2階、エレベーター塔屋3階建てのビル解体工事にて、エレベーター塔屋2階のコンクリート支柱の解体作業中、当該支柱下部を斫り、鉄筋を溶断しながらピット内に落とすために支柱上部にワイヤーロープをくくり、向かい側に設置した車両系建設機械で引っ張っていたところ、コンクリート支柱がピット内に倒れ、車両系建設機械がピット内に引かれたはずみで被災者がピット内に投げ出されて、3.5 m墜落した。	30209	1	100 ～ 299
2019	1	14 ～ 16	事業場の敷地内で、解体用つかみ機を使用しFRP製タンクの破碎作業中、つかみ具でタンク内部の鋼管（円形、直径5 cm、約20 kg）3本を楕円形状につぶしていたところ、2本の鋼管をつかんだときに1本の鋼管（長さ約2.8 m）が横方向に飛び、付近にいた被災者の腹部に激突したもの。	40301	4	10 ～ 29
2019	1	12 ～ 14	民家解体工事において、解体用つかみ機の運転手が、同機械にて解体の作業を行っていたところ、解体用つかみ機の旋回範囲内に被災者がいることに気づかないまま機械を旋回させたため、被災者が解体用つかみ機の上部旋回体とブロック塀との間に挟まれ、約90分後に死亡した。被災者は手作業で、現場内の廃材の仕分作業等を行っていた。	30309	6	10 ～ 29
2020	12	14 ～ 16	被災者は、植木畑で車両系建設機械を用いて、バンドで固定し植木を吊り上げ走行していたところ、車両系建設機械が転倒し、運転者である被災者が運転席から投げ出され死亡した。	80109	2	1～ 9
2020	11	16 ～ 18	産業廃棄物の処理を行う建屋内において、解体用つかみ機を用いて産業廃棄物の破碎作業等をしていたところ、同機械のキャタピラの進行方向付近で人力により鉄くずの運搬等を行っていた被災者がひかれ、死亡したものである。	80209	7	1～ 9
2020	9	10 ～ 12	産廃処理工場において、圧碎機を用いて鉄筋コンクリート片を破碎していたところ、はさみ状アタッチメントに鉄筋が引っ掛かった。被災者が開いた状態のはさみ状アタッチメントの下で、はさみの間をのぞき込むような状態で鉄筋を外していたところ、アタッチメントが作動し、胸部をはさまれて死亡した。	150102	3	1～ 9
2020	2	10 ～ 12	木造建築物解体現場において、解体用機械（鉄骨切断機）を使用して作業を行っていた。現場に金属ごみの分別等の作業に来ていた被災者が解体用機械の旋回部分に激突され、旋回部分とキャタピラの左後方に胴体を挟まれ、死亡した。	30209	6	10 ～ 29
		14	産業廃棄物の中間処理場にて、場内に運びこまれた廃棄物の分別作業を行っていた際、バックしてきた同僚労働者が			10

2020	1	～ 16	運転する車両系建設機械（つかみ機）に轢かれたもの。災害後病院へ搬送されたが死亡が確認された。	150102	7	～ 29
2020	1	～ 16	14 擁壁を鉄板で補強するため、鉄板上部の溶接を行い、鉄板下部の溶接を行うため、コンクリート圧碎機で鉄板を押さえたところ、被災者が溶接を行うため、コンクリート圧碎機のアタッチメントと床面の間に体を入れた際、アタッチメントが下に滑り、被災者の頭部がアタッチメントと床面の間にはさまれた。	150102	7	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_02.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html)